

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月8日から16日まで、4日間開かれました。今定例会では、令和3年度補正予算案8件、条例案10件、その他4件、令和4年度当初予算案7件、意見書案1件、決議案1件を可決し、閉会しました。

生きがい活動支援事業見直しへ～午前事業と午後事業を開設～

要介護状態になることへの予防と 閉じこもり防止を目指して

当初予算質疑から

○高齢者在宅生活支援事業

293万円

◎ 平成12年4月から、自立した生活の確保に必要な支援を行うことを目的として、生きがい活動支援事業が進められてきた。しかし、令和4年度からは、生きがい活動支援事業の内容を一部見直すとのことだが、具体的にどのような見直しをするのか。

▲ 在宅で生活する高齢者が、要介護状態になることを予防すると共に、高齢者の閉じこもり防止と交流を図ることを目的として、月曜日と金曜日に開設する。

参加料は無料だが、

昼食を希望される方は、個人負担分として500円掛かる。開設時間は、午前事業と午後事業に分けて行い、午前事業については、健康チェックや運動機能向上及び生活相談等を行い、希望者には食事も提供する。

午後事業については、趣味活動や交流に関する意味合いが強い。そのため、ぶらっと来てお茶を飲んだり、お話しをしたりすることも可能である。また、夏の暑い時には、クーラーが付いているので、涼みに来ていただいてもかまわないので、沢山の高齢者の方に利用してもらいたい。



▶参加者がゲームで交流(午後事業)

1日の流れ

- 10:00～ [午前事業の開設]
- 10:30～ 健康チェックの実施
- 11:00～ 体操
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ [午後事業の開設]
- お茶の時間、ゲーム等
- 16:00～ 終了

令和4年度予算の使い道

**解体費費用は
なぜ約2倍近くまで
膨らんだのか**

○解体工事費

1千649万円

Q 平成29年に寄附を受けて、令和3年度中に解体の予定であった、旧鹿野水産の建物解体工事とは、なぜ当初の金額から約2倍近くまで跳ね上がったのか。

また、寄附を受けてから解体工事に至るまで、なぜこんなに時間を要することになったのか。

A 当初は一般的な解体工事の予定だったが、アスベスト調査により、アスベスト含有建物であることが判明し、必要な対策や処理費用の部分で工事費が膨らんだ。

また、解体まで時間を要したのは、建物の周りが民地に囲まれており、工事車両が入れる部分が道

道からの1か所であったため、安全に工事を進めることが難しかった。やっと、昨年土地の入り込みで調整が付いたが、新たにアスベスト含有が発見された関係で、非常に時間がかかることとなった。

**解体後の
土地利用構想はあるか**

Q 旧鹿野水産の土地と建物の寄附を受けた理

由と、建物の周囲には民間事業者の工場等があったが、既に解体されている。町は、これら解体後の土地一帯を含めた何らかの構想を持っているのか。

A 市街地外の方が住むための住宅建設や、福祉目的で使用することが出来ないかということも寄附を受けた。しかし、現在はそのニーズが無く、今後の使用予定が現在無いというのが現状である。ただし、周辺の土地所有者が、どのような構想をもって土地の有効活用を考えているのかを聞きながら、更なる有効活用を考えていかなければならないと思っている。

**新型コロナウイルス
ワクチン接種は
なぜ遅いのか**

○新型コロナウイルスワクチン接種委託料

581万円

Q 当町で3回目のワクチン接種が始まって

るが、接種の開始時期が遅いとの声も聞くが、遅い理由は何か。1日も早く当町の接種率を上げて、町民の安全安心が図られるように努めていきたい。

A 新型コロナウイルス接種は、計画的に接種していく必要があるため、2回目を接種した方から、順次接種券を発送している。接種が遅れていることに関しては、申し訳なく思っている。

接種は唯一の医療機関である診療所の外来を止めないで行うため、接種人数は限られてしまうが、月1回は、1日180人規模の接種を行いつつ、町民の希望に答えられる体制を組んでいきたいと考えている。

また、町民への周知については、町内回覧や町のホームページで、分かりやすく工夫しながら周知していきたい。



▶平成29年に寄附を受け解体される旧鹿野水産

令和4年度 予算総額 63億1,068万円

— 対前年度比 1.99%減の計上 —

不妊治療の保険適用と 助成金との関係性は

○特定不妊治療費助成金
90万円

Q 国においては、今年
の4月から少子化対策
の一環として、不妊治療費
が保険適用になるとのこと
である。新年度予算の特定
不妊治療費助成金90万円は、
保険適用になることも踏ま
えた内容で計上しているの
か。

A 現在の特定不妊治療
費助成金は、北海道の
不妊治療費助成を受けてい
る方が対象となり、体外受
精と顕微授精に限って助成
している。4月からは、不
妊治療費が医療保険の適用
になることは承知している
が、保険適用にならない部
分への助成を現在検討して
いるので、
それらに係
る分として
計上した。



出前タクシー事業を もっと周知して

○出前タクシー推進事業
補助金
25万円

Q この事業は大変好評
でもとても便利であり、
飲食店の売り上げにも繋がっ
ていると思う。しかし、こ
のシステムを理解していな
い人もいるので、もっと皆
さんが利用できるように、
もう一度町民の方に周知し
ていただきたい。

A 令和4年度は通年で
実施するが、町民の皆
さんにまだまだ知られてい
ない部分もあると思うので、
商工会を通じて改めてPR
をしたいと思っている。

《歳入》

公衆浴場料金は

安くできないか

○公衆浴場使用料

205万円

Q 現在は、大人450
円、70歳以上の町民は

100円で入浴することが
出来るが、大人の料金を3
00円ぐらいに安くする考
えはないか。料金を安くす
ることによって、多くの町
民に浴場を利用してもらい、
利用者数を上げていくこと
も得策だと思うが。

A 公衆浴場は、基本的
には浴場が無いと困る
方を対象に設置されたもの
である。よって、北海道が
定めた公衆浴場入浴料金に
基づき、金額を決めている
ので、大人料金に対する町
独自の減額は今のところ考
えていない。



▶ふれあいの湯

令和4年度 各会計当初予算額

会計名	総額	前年度比	
一般会計	48億1,533万円	97.4%	
特別会計	国保事業勘定	4億4,428万円	101.7%
	国保直診勘定	3億4,892万円	102.2%
	簡易水道事業	2億550万円	98.6%
	公共下水道事業	1億3,881万円	100.2%
	介護保険事業勘定	3億1,016万円	97.8%
後期高齢者医療	4,767万円	93.8%	

町民の70歳以上の高齢者
には、100円で利用して
もらっており、自宅でお風
呂に入るための水道代や段
取り等を考えると、相当安
価で入浴することが出来る
ので、町民の方には喜んで
頂いているものと思ってい
る。

新年度予算の主な事業

○ **タウンホール維持管理事業** 1,408万円（新規）
〔音響機器設備更新等〕

○ **ふるさと交流センター整備事業** 205万円（新規）
〔トイレ改修、ワーケーションブース設置〕

○ **スクールバス購入事業** 1,187万円（新規）
〔小利別線スクールバス（25人乗）1台〕

○ **陸別町国民健康保険関寛斎診療所 医療用機器整備事業** 1,615万円（新規）
〔超音波画像診断装置1台、i-STATアナライザー1台、コンパクト視力計1台ほか〕

○ **新型コロナウイルスワクチン接種事業** 1,056万円（継続）
〔初回接種を受けていない12歳以上の方、5～11歳の方、3回目の追加接種〕

○ **介護職員等資格取得事業** 167万円（継続）
〔①介護職員初任者研修 ②対象となる資格を取得または研修を修了した町民に対し補助金を交付 補助率は経費の3分の1、上限は10万円（町内の介護事業所に勤務する等の条件があります）〕

○ **庁舎改修事業** 8,229万円（継続）
〔機械設備改修、電気設備改修工事、屋上防水改修、消火栓ボックス内ホース更新など〕

○ **移住定住促進住宅建設等補助事業** 1,400万円（継続）
〔①住宅新築 ②建築後3年以内の中古住宅購入 ③住宅改修（リフォーム）に対し補助金を交付（補助金の最高限度額は①200万円～400万円 ②200万円 ③50万円 詳細な条件、基準については役場総務課におたずねください）〕
* 施工業者は、原則、町内に本店を置く事業者であることが条件となります。
* 10年未満で町外に転居した場合は年数に応じて補助金の返還義務が生じます。

○ **冬季生活支援事業** 150万円（継続）
〔町民税非課税世帯など、対象世帯1世帯に1万円の商品券を支給〕

○ **出産祝い金事業** 530万円（継続）
〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ **プレミアム商品券発行事業** 833万円（継続）
〔年2回実施、プレミア率は20%〕

○ **修学旅行費に対する助成** 小学校16万円／中学校42万円（継続）
〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成する〕

○ **給食費無料化** 保育所192万円／小学校463万円／中学校329万円（継続）
〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

一般質問

3月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

コロナ禍での教育状況と

感染者支援は大丈夫か

渡辺 三義 議員

問 コロナ禍の生活も丸2年が経過し、一昨年は緊急事態宣言により、学校の臨時休業が実施された。

また、今年の1月から2月においては、十勝管内の学校でのクラスター（集団感染）が発生し、学校閉鎖等によって学習環境も変わろうとしている。そのような状況下において、ICT事業の整備やオンラインによる学習の環境整備はどの様に進んでいるのか。

また、コロナ禍が続く中において、児童・生徒の学習の遅れはないのか。

答 北海道においては、令和2年2月末に緊急事態宣言が出されたことにより、4月、5月にかけて臨時休業に至った。

しかし、このことによつてICT環境の整備が進め

られ、令和2年度中に全ての児童・生徒一人一人にタブレットを配備することができた。よって、今後、急な学年閉鎖等があったとしても、学習への大きな影響はないものと思っている。

問 長引くコロナ禍において、当町においても感染者が増えている状況にある。町は、令和2年4月7日に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げているが、今までの活動状況や課題等について伺う。

対策本部は、新型コロナウイルスインフルエンザ等対策特別措置法に基づき、陸別町新型コロナウイルス等対策本部条例に基づき設置している。これまでには、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの節目ごとに数

回会議を開催してきた。主な取組としては、北海道の定める方針に準じて、町内における行動等を決定してきている。

令和2年の感染拡大が始まった頃は、各種資材等の不足や、学校の休校などの混乱等もあったが、今のところ町内でのクラスターも発生していないため、大きな課題は無いものと思っている。

問 新型コロナウイルス感染症は、今年の1月から2月に掛けて第6波のピーク状態となり、医療が逼迫し、中軽症感染者の自宅療養が急増した。

当町においても感染者が確認されているが、もし自宅療養者の中

に、困窮状態にある世帯や要介護の状態にある方がいた場合の対応はどのように考えているのか。

答 自宅療養者等の生活援助については、保健所が必要な生活用品を確認して手配している。万が一自宅待機者等の中に、困窮世帯や要介護状態にある方がいれば、保健所からの要請に基づき、町としても対応していきたいと考えている。



▲ 保健所から届く自宅療養者への支援（イメージ画像）



ここが聞きたい

過疎法がもたらすもの

久保 広幸 議員

になる。

問 町内の再生可能エネルギーの利用については、太陽光発電とともに家畜糞尿を利用したバイオガスプラントの整備が今年秋の竣工を目指して施工中である。この整備事業は町とJAとが車両の両輪となつて進められているが、操業後の経営収支に不安要素を

はらんでいることを聞いている。

余剰熱などを利用した新規事業が、この整備事業の持続性を高めるうえで極めて重要と考えるが。

町長 余剰熱の利用など、脱炭素に向けた動きを推進する必要がある。昨年12月に、道のゼロカーボン推進課で、当町に適した環境事業についての情報収集を行っている。

稼働開始後に状況を確認しつつ、協議を進めること

問 バイオガスプラントの運営に何らかの形で財政支援せざるを得ない事情があるとすれば、ある程度の継続性が見込める地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の獲得が前提になるのではないか。

町長 当町のバイオガスプラントは、多くの農業者の利益が期待できる一方、大規模集合型プラントであるため運営方法が複雑で、経営収支が不安定になり易い。しかしながら、電力以外の熱エネルギー等の確保やCO₂削減量が多いメリットもあるためプラントだけの単純な収支を考えるのではなく、バイオガス全体で収支を安定させることが重要と考えている。

特に、国が推進する脱炭

素施策は継続性が見込めるとともに、町民全体への利益も大きいことから、関連する交付金の調査・検討を進めたい。

問 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金は、地域の電力消費に伴うCO₂排出量削減を交付要件にしており、太陽光やバイオガスなどを利用した発電だけではなく、太陽熱の利用も対象になっていることから、日本一寒いまちに太陽光の熱を利用した省エネ住宅の普及としてアピールできるのではないか。

町長 この交付金は、家畜排泄物のエネルギー利用の他、公共施設の省エネ対策や住宅建築物の省エネ性能の向上など、幅広い分野について、地域全体で脱炭素移行を推進しようとするものである。

公営住宅等の整備については、社会資本整備総合交付金要綱で新たなカーボンニュートラルの実現に向け

た指針や要件などが示され始めている。

高規格道路小利別インターチェンジの存置を！

問 十勝オホーツク自動車道小利別インターチェンジの取り扱いについては、現在工事中の小利別一陸別間の工事区間竣工後は原則撤去ではあるものの、その活用は地元の方にも掘るとされているが、この活用を伺う。

町長 これが仮設の扱いで、インターチェンジとして活用する場合は維持管理などが地元負担となる地域活性化インターチェンジとして残す方法がある。

この存置については隣町置戸町が強い要望を持っていることを聞いており、地元負担が生じない方法で、置戸町とともに可能性を探りたい。



町内に各種案内板の設置を

谷 郁 司 議員

問 平成31年3月定例会で字名改正について質問した時は、色々と検討したいとの回答であった。それから3年経過したが、検討の結果について伺う。

答 また、コナ禍が終息した後の観光交流の増と開かれた町づくりとして、行政区名と字名を併記した案内標示板を設置する考えはないか。

問 字名改正は町民の負担と多くの事務作業が伴うことから、慎重に考える必要があるものと思っている。標示板の設置については、必要性のある所には検討してみたい。

問 町の公共施設には、国道・道道から分る案内板が設置されていない所もある。今後、新しく建設工事を発注する際には、案

内標示板も建設費に盛り込むようにしてはどうか。

答 今後、公共施設の建設計画策定の際には、案内標示板の設置についても検討していく必要があるものと思っている。



▲ 国道沿いに設置された案内板（旭町）

問 ふるさと交流センター（道の駅）内にフーケー

ションブースが令和4年度中に設置されることから、同時に大型画面の電光掲示板を設置する考えはないか。

答 ふるさと交流センター内にデジタルサイネージ（電光掲示板）の設置は考えていない。しかし、現在の設備を最大限に活用し、多角的な方法で、観光案内や情報を幅広い年代に提供出来るようにしていきたいと考えている。

「2・4・5T剤」が埋められた実態はないか

問 国有林で使用された「2・4・5T剤」（2・4・5トリクロロフェノキシ酢酸）が全国各地（十勝管内は本別町等）の山林に埋設されている。これは猛毒のダイオキシンを含む化学物質であり、ベトナム戦争で米軍が広範囲に枯れ葉剤として散布したことにより、発ガン・流産・皮膚疾患・先天性障害・奇形児出生等に影響を与えた。

答 十勝東部森林管理署に確認したところ、昭和47年に本別町内の国有林に約0・5t埋設したとの記録はあるが、陸別町内の国有林に埋設したとの記録は無かった。



▲ 埋設箇所は立入禁止となっている

教育長の

教育行政執行方針を問う

中村 佳代子 議員

問 これまでの小中一貫教育3年間の取り組み状況と、その成果をどのように捉えているのか。

答 義務教育9年間を見通した一貫教育活動が大切であり、教員が見守りと支えの意識を持つ必要があると思っている。また、中学校の学習で見えてくる弱点を分析して、小学校での強化を行い、全体の底上げを目標としている。

既に3年間が経過し、目を見張るような変化があるとは言えないが、今年度の中学3年生の学力テストでは成果が出ている。

問 小中一貫教育の9年間で目指す、中学3年生の人物像を更にバージョンアップしていくためには、卒業生へのアンケート調査

等を行い、その結果に基づく評価を行いながら、一貫教育の軌道修正をしていくことも必要ではないか。

答 卒業生と会うことが出来る、『はたちの集い』などの機会に意見をもらいながら、今後の小中一貫教育に活かす取り組みを考えてみたい。

問 当町のタブレット学習は既に浸透している中で、A1型教材を導入して、全ての子供たちの学力向上に繋げるための取り組みを行っているかどうか。

答 当町の教育にとって何が大事かを分析して、必要な環境を整えは考えて見たい。



問 トランスジェンダーは、心と体の性が一致していないため、性的違和感を持ち、その9割は中学生までに気づくと言われている。

学校の取り組み状況はどうなっているのか。また、性別に関係なく着られるジェンダーレス制服を導入する考えはないか。



▲ 男女の区別のない制服 (イメージ画像)

答 トランスジェンダーに関して、保健の学習の中で意識的に取り組んではいるが、実際に該当する児童・生徒はいないものとみている。

制服については、男女平等も視野に、自由に選択ができるようにすることも、

一つの方法であると考えている。

問 町民プールの改築については、執行方針の中で最優先課題として位置づけているが、複合施設を兼ねたプールとして改築する考えはないか。

答 これからは、個人活動を支援するための施設が必要であるとは考えている。トレーニング器具やウォーキングコース等を兼ねた複合施設も検討してみたいと思っている。



▲ 昭和57年に建設された町民プール

全ての工事終了まで
後何年か

○道営土地改良事業
地元負担金



▲ 工事が進む町道関北一線連絡線

Q 旧中斗満小学校から国道242号線までを整備する道営土地改良事業は、既に一部は完成しているが、最終完成年度と現在までの進捗状況はどのようになっているのか。

A 事業期間は、令和5年度までに全てを完成させる計画である。進捗状況については、全体の約75%まで事業が進んでいる。

1回当たりの
タクシー代は

○車両借上料
今年度中に町長が出る

Q 張の際に利用したタクシーの利用回数と、1回当たりの平均の利用金額はいくらか。また、令和2年度まで使用していた、町長公用車は現在どのような状況にあるのか。

A タクシーは、令和3年4月から現在まで12回利用している。1回当たりの利用金額は、平均42,350円である。町長公用車は、現在も町が管理し、職員が運転をして町長と共に出張する際に使用している。

給食業務を入札する際の
選定と雇用は

債務負担行為補正
○陸別町給食センター
給食調理等委託業務

Q 新年度から、給食センターでの給食調理業

務は、民間の業者に委託することになるが、入札する際の選定及び調理員の雇用関係はどのように考えているのか。

A 委託業者については、入札により決定することになるが、基本的には町内業者に実施してもらいたいと思っている。

現在、給食センターで働いている会計年度任用職員についても、委託先の業者で働くことができるように調整していきたいと考えている。



▶ 給食調理の様子

令和3年度 各会計補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一	般 会 計	1億 7,884万円	53億 6,906万円
特 別 会 計	国 保 事 業 勘 定	366万円	4億 4,370万円
	国 保 直 診 勘 定	△ 1,927万円	3億 3,495万円
	簡 易 水 道 事 業	△ 484万円	1億 9,633万円
	公 共 下 水 道 事 業	△ 462万円	1億 3,096万円
	介 護 保 険 事 業 勘 定	△ 797万円	3億 2,506万円
	後 期 高 齢 者 医 療	△ 117万円	4,963万円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 専決処分の承認を求めることについて	承認
● 専決処分の承認を求めることについて	承認
● 専決処分の承認を求めることについて	承認
● 陸別町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	決
● 第1期陸別町地域福祉計画について	決
● 陸別町職員定数条例の一部を改正する条例	決
● 陸別町の休日等を定める条例等の一部を改正する条例	決
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	決
● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	決
● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	決
● 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	決
● 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	決
● 陸別町生きがい活動支援事業条例を廃止する条例	決
● 陸別町消防団員の定員、服務等に関する条例	決

可決した意見書

- 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

可決した決議

- □シリアによるウクライナ侵略と核兵器での威嚇を非難する決議

議会の動き

【2月】

- 17日 議会運営委員会
- 22日 議員協議会

【3月】

- 4日 議会運営委員会
- 8日 3月定例会
- 9日 3月定例会
- 10日 3月定例会
- 16日 3月定例会
- 議員協議会
- 議員協議会
- 議会運営委員会
- (広報編集会議)
- 総務常任委員会
- 産業常任委員会
- 議員協議会
- 3月定例会
- 3月定例会
- 3月定例会

- 29日 総務常任委員会

【4月】

- 8日 総務常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- (広報編集会議)



次回の定例会は6月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

陸別町議会
ホームページ
のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>